Ｑ１.申出者情報を入力してください

|  |  |
| --- | --- |
| 担当者氏名 |  |
| 団体名  （※個人の場合は記入不要） |  |

Ｑ２.プログラムについて

|  |  |
| --- | --- |
| プログラムタイトル  （ポスター等に表示するタイトル） |  |
| 予約日時 | 令和　　年　　　月　　　日（　　　　）　　：　　～　　　： |
| 使用場所 | 芝生広場　・　下広場　・　噴水広場 |
| 開催時間 | ：　　　　～　　　　　： |
| どんなことするのか | 企画ジャンル（こども・マルシェ・音楽・スポーツ・まちづくり賑わい・その他） |
| どんな人に向けて | こども、大人、どんな人に向けてするのか |
| 参加者に  何を伝えたいか  どうなって欲しいか |  |
| 出展内容  出店数 |  |
| 電気・水の使用 | 電気の使用　有　・　無　　/　　水の使用　有　・　無 |
| 当日運営スタッフ人数 | 人 |
| 参加費 | □あり（　　　　　　　円）　　　　□なし |
| 出展料 | □あり　　　　　　　　　　　　　　□なし |
| 搬入車両 | □あり（　　　　　　　台）　　　　□なし |
| イベント保険加入 | □あり　　　　　　　　　　　　　　□なし |
| その他 | 聞きたいこと、気になること |

茨木市では、IBALAB＠広場をはじめ市民会館跡地エリア活用のキーコンセプトを「育てる広場」として展開しています。

みなさんが実施するプログラムにおいても、このキーコンセプトを大切にし、育てていけるようにと、次の5つの視点を取り入れながら活動をしていただいています。

みなさんの現在の活動で①～⑤の視点を取り入れた場合に、どんなことができるか、できているかについて記入してみましょう。

すべて記入できなくてもかまいません。記入方法がわからない場合にはご相談ください。

|  |  |
| --- | --- |
| ①やりながら考えよう  ＜ 例えば ＞  ・1人でも、練習レベルでもまずはやってみる  ・やってみた経験を仲間に話してみる  ・新施設でより活動しやすくなるルールを考える |  |
| ②ちょっと先の未来を想像しよう  ＜ 例えば ＞  ・自分が楽しいと思うことを想像してみる  ・参加する人も一緒に楽しめるか想像してみる  ・将来の新施設の風景を想像してみる |  |
| ③チャレンジしよう  ＜ 例えば ＞  ・温めている企画を打ち明けてみる  ・一歩踏み出して行動に移してみる  ・いつもと違う要素を取り入れてみる |  |
| ④場をシェアしよう  ＜ 例えば ＞  ・同じ場所を使っている人がいることを意識する  ・見てるだけ、通り過ぎるだけの人もいることを意識する |  |
| ⑤循環をつくろう  ＜ 例えば＞  ・お互いの活動を積極的に知る  ・いつも参加してくれる人を企画側に誘ってみる  ・新施設や広場からはみ出して、まちとつながってみる |  |